

令和2年度
事業計画書

特定施設入居者生活介護

介護付き有料老人ホームかつはら

法人理念 「いたわりと思いやり」 「地域福祉の拠点として」

1. 事業の内容

事業の指定	特定施設入居者生活介護
事業の名称	介護付き有料老人ホームかつはら
指定番号	28
施設の所在地	〒671-1203 姫路市勝原区丁15-1 TEL 079-271-3371 / FAX 079-271-3381
事業開始	令和2年4月1日
管理者	施設長 細野欣之
利用定員	50人

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	法人理念に基づいた基準の明確化
理 由	法人内で初めての事業である特定施設入居者生活介護の開設にあたって、運営面及び経営面での安定化を図ることが急務となる。施設の認知度を上げるとともに、法人理念に基づいたサービスにおけるルールや基準を明確化することで入居者が安心して生活を送ることができ、職員の働きやすさにもつながるため。
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理念を意識してケアを行えるように法人理念に基づいた施設独自の理念も掲げ、全員に周知し、常に原点に立ち返れるようにする。 2. 各委員会の立ち上げ、各種会議の創設等を行い、ケアのあり方の検討や既存マニュアルを施設の実態に即したものに変更するなど業務において見える化を図る。 3. 各職種の役割や権限を普段の業務レベルまで細分化し、月に一回開催される職員会議で常に内容の振り返りや修正を行い、判断等における混乱を防ぐ。 4. サービス内容や料金等が分かりやすい施設独自のパンフレットを作成し、近隣の居宅介護支援事業所、病院、地域の会合等に出向いて認知度の向上につなげる。

3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、入居者の方々が、安全で快適生活が過ごせるように次の人員を配置する。

職 種	常 勤	非常勤		フルパート		パート		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算	人数	換算
施 設 長	1							1	1.0
事 務 員						1	0.6	1	0.6
介護支援専門員	1							1	1.0
生活相談員	1							1	1.0
栄 養 士	1							1	1.0
機能訓練指導員	1							1	1.0
看 護 職 員	2					1	0.6	3	2.6
介 護 員	12			2	2.0	5	3.2	19	17.2
調 理 員						4	2.0	4	2.0
医 師						1	0.1	1	0.1
合 計	19			2	2.0	12	6.5	33	27.5

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
食 事 委 員 会	食事摂取や水分補給のケアのあり方や食事における楽しみについて検討を行い、「食べる」ことの質の向上を目指す。	月1回
リスク管理委員会	介護事故等を含めた様々なリスクに対する検討を行い、職員の意識の向上やケアの改善につなげることを目指す。	月1回
感染委員会	ノロウイルスやインフルエンザ等の季節性の感染症から血液による感染など施設内で想定される様々な感染症に対する知識と対応を周知することを目指す。	月1回
褥瘡委員会	褥瘡に対する基礎知識やその予防法など、日々のケアの中で注意すべき点などを周知し、入居者が褥瘡にならないよう対策を行う。	月1回

委員会名	活動目標	活動回数
身体拘束虐待防止委員会	身体拘束及び身体的・精神的虐待の防止のため、人権について、拘束による弊害等様々な視点から検討し、施設で拘束・虐待が起こらないよう対策を行う。	月1回
排泄委員会	個々にあった排泄支援（トイレでの排泄、適正な尿パッドの使用等）の取り組みを行う。また、排泄マニュアルの検証を実施する。	月1回
入浴委員会	入浴ケアのあり方を確立し、夜間入浴など施設都合でなく、入居者の生活のペースに合わせたケアが行えるよう入浴ケア全般の向上を目指す。	月1回

5. 年間行事計画

一人ひとりの入居者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みのある習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	内容
4月	①お花見	①近隣にドライブに出かけ、花見を行う。
5月	①ドライブ外出	①新舞子海岸や相生方面などへ出かけ外気浴を行う。
6月	①バーベキュー大会	①バーベキューを行い、楽しく昼食をとる。
7月	①勝原小学校夏祭り	①勝原小学校で行われる地域の夏祭りに参加し、イベントを楽しみ地域交流を図る。
8月	①夏祭り	①入居者・家族、ボランティア、を招待し、盆踊りやアトラクションを楽しむ。
9月	①寿会	①白寿・米寿の方は、家族を招き、記念品の贈呈や食事会を行う。午後からは岩波右扇会の踊りを全員で楽しむ。
10月	①秋祭り見学（魚吹神社）	①天満地区などの屋台の練り合わせを見学する。
11月	①ドライブ外出	①新舞子海岸や相生方面などへ出かけ外気浴を行う。

月	行 事 内 容	内 容
12月	①クリスマス会	①入居者家族を招待し、忘年会を兼ねて食事やアトラクションを楽しむ。
1月	①初詣（魚吹神社）	①近隣の神社へ初詣の参拝に出かける。
2月	①節分（豆まき）	①節分の豆まきを行う。
3月	①入居者との意見交換会	①入居者の生活に対する意見交換会を施設長も交えて実施する。

6. サービスの種類及び概要

入居者が家庭的な雰囲気のもと、日々の生活がすごせるように次のサービスを行う。

サービスの種類	開催日	概 要
散 髪	毎月2回	訪問美容師によるカットを行う。(実費)
訪 問 販 売	週1回程度	パン・菓子類の買い物を行う。
お誕生日会	都度実施	外食等、お誕生日会を行う。
ドライブ外出	月1回	季節を感じる事が出来る外出を行う。
園だよりの発行	月1回	施設での活動内容や取り組み等を毎月1回広報誌として発行する。

7. その他の事業

地域住民を対象に認知症や介護・高齢者福祉に関する情報発信と啓発を行うとともに、相談に応じるなど、地域貢献の一環として、次の事業を実施する。

事業名	内 容
介護技術講習会の開催 (兵庫県委託事業)	要支援、要介護状態となっても、できる限り在宅で暮らせるようにするためには、介護保険内、外のサービスに加えて、家族の介護力を高めることも重要であることから施設の持っている介護や認知症に関する知識、技術など情報を発信し、意見交換するための講習会を開催する。(年2回)
イメージアップ推進事業 出前授業の開催 (兵庫県委託事業)	介護人材の確保の一環として、介護業務のイメージアップを図るため、一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会が製作したDVDやリーフレットを活用し、管理者と介護職員等が小学校・中学校・高等学校等での出前授業を開催する。(随時)

事業名	内容
介護業務1日体験講座 の開催 (兵庫県委託事業)	特別養護老人ホームにおいて介護職員の確保が困難な状況を踏まえ、中高年層、子育てを一段落した女性、離職者等を対象に、特別養護老人ホームにおける実際の業務を1日体験する機会を提供する。(年1回)

8. 施設の安全対策

一人ひとりの入居者の安全な生活の継続を図るため、防災意識を高め、有事に備えて、次の災害への対策を実施する。

月	訓練種目	内容
4月	防災設備訓練	防災に関する設備の使用方法の訓練
5月	防災設備訓練	防災に関する設備の使用方法の訓練
6月	消防訓練(夜間体制)	夜間を想定した火災訓練
7月	消防訓練(夜間体制)	夜間を想定した火災訓練
8月	消防訓練(夜間体制)	夜間を想定した火災訓練
9月	消防訓練(夜間体制)	夜間を想定した火災訓練
10月	消防訓練(日中体制)	日中を想定した火災訓練
11月	防災設備訓練	防災に関する設備の使用方法の訓練
12月	消防訓練(日中体制)	日中を想定した火災訓練
1月	救命訓練	AEDや心肺蘇生法に関する訓練
2月	消防訓練(夜間体制)	夜間を想定した火災訓練
3月	消防訓練(夜間体制) ※網干消防署立会	夜間を想定した火災訓練

9. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守、 個人情報保護に関する研修 消防設備研修	全職員	施設長
5月	人権意識〔身体拘束〕について	全職員	介護支援専門員
6月	感染症について（食中毒）	全職員	厨房職員
7月	排泄ケアについて	全職員	排泄委員会
8月	褥瘡について	全職員	褥瘡委員会
9月	入浴ケアについて	全職員	入浴委員会
10月	リスクマネジメントについて	全職員	ユニットリーダー
11月	感染症について （ノロ、インフルエンザ）	全職員	感染委員会
12月	終末期ケアについて	全職員	介護支援専門員
1月	食事ケアについて	全職員	食事委員会
2月	介護保険制度の施策・動向について	全職員	施設長
3月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会

10. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、ボトムアップ（底上げ）を図るため、それぞれに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
相談員、主任等	・各事業所を取りまとめるリーダーとして求められる役割や職員のストレスマネジメント等について	リーダー研修
法人全体	・福祉のプロとして、選ばれる事業所となるために必要なマナー等について	接遇研修
法人全体	・職員の健康増進及び生活習慣病等について	産業医研修